

中東研2026年度国際シンポジウム

中東の新たな均衡： イラン戦争後の交戦、外交、競争

The New Middle East Equation:

Warfare, Diplomacy, and Strategic Competition after the Iran War

2026.11.13

13:30–17:20 | 経団連会館 2階 経団連ホール北
第1部 13:35、第2部 14:45、第3部 16:00

SPEAKERS

登壇者



ブライアン・カトゥリス

Brian Katulis

米中東研究所
シニアフェロー



ファルジン・ナディミ

Farzin Nadimi

米ワシントン近東政策研究所
シニアフェロー



立山良司

Ryoji Tateyama

防衛大学校名誉教授
日本エネルギー経済研究所客員研究員

PROGRAM

プログラム

第1部 米国の中東政策: トランプ政権
後半の展望

スピーカー: ブライアン・カトゥリス
コメンテーター: 渡邊駿

第2部 戦後のイラン: 攻撃能力、海上
威圧、そして米国と日本への教訓

スピーカー: ファルジン・ナディミ
コメンテーター: 遠藤健太郎

第3部 中東の新たな均衡: 湾岸諸国、
米国、イラン、日本の選択

パネリスト: ブライアン・カトゥリス、
ファルジン・ナディミ、
立山良司、堀抜功二

REGISTRATION

参加登録



登録〆切: 11月10日

<https://jime.iee.or.jp/events/29824>

登壇者・パネリスト

SPEAKER 01

ブライアン・カトゥリス / Brian Katulis

米中東研究所 シニアフェロー

プリンストン大学で修士（公共政策学）を取得。米進歩センターのシニアフェローを経て現職。数十年にわたって米国の対中東政策に携わり、米国家安全保障会議、米国務省、米国防総省で要職を歴任してきた。米国の中東政策に関する影響力のある論考を数多く発表し、議会委員会での証言の経験を有する。

SPEAKER 02

ファルジン・ナディミ / Farzin Nadimi

米ワシントン近東政策研究所 シニアフェロー

キングス・カレッジ・ロンドンで修士（戦争学）、マンチェスター大学で博士（中東研究）を取得。イランの軍事組織・軍事力を専門とする。これまでにイランの軍事力や目的、防衛産業、イラン石油産業のレジリエンス、米国によるイラン政策、イラン・イラク戦争の軍事史など様々なテーマで、多くの著作を発表している。

PANELIST 01

立山良司 / Ryoji Tateyama

防衛大学校 名誉教授

早稲田大学政治経済学部卒業後、在イスラエル日本国大使館専門調査員や中東経済研究所などを経て、2013年まで防衛大学校教授。イスラエル・パレスチナ情勢を中心に中東の現代政治を専門とする。最新の著作に『ガザからイラン戦争へ——中東の変動と揺らぐ国際秩序』（中央公論新社、2026年）。

PANELIST 02

堀抜功二 / Koji Horinuki

日本エネルギー経済研究所中東研究センター 研究主幹

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程修了。博士（地域研究）。2010年より日本エネルギー経済研究所中東研究センター研究員。専門は現代湾岸アラブ諸国の政治・社会動態、比較政治など。共編著に *Asian Migrant Workers in the Arab Gulf States: The Growing Foreign Population and Their Lives* (Brill, 2019)。